

# 令和7年度新規就農者数について

令和8年6月12日  
岩手県農林水産部

## 1 新規就農者数

- (1) 令和7年度の新規就農者数は298人で、前年度に比べ10人増加し、目標就農者数280人に対する達成率は106%。
- (2) 就農区分別では、自営就農者122人(41%)、雇用就農者176人(59%)。
- (3) 自営就農者の内訳をみると、新規参入者(66人)が最も多く、次いで家業への就農者、新規学卒者の順。

表1 新規就農者数の内訳(直近5か年) (単位：人)

就農区分	R3	R4	R5	R6	R7
自営就農者	110 (40%)	137 (47%)	126 (44%)	102 (35%)	122 (41%)
新規学卒者	13	7	11	3	9
家業への就農	48	78	47	42	47
新規参入者	49	52	68	57	66
雇用就農者	167 (60%)	154 (53%)	160 (56%)	186 (65%)	176 (59%)
合 計	277	291	286	288	298
青年	215 (78%)	212 (73%)	214 (75%)	186 (65%)	211 (71%)

※( )は新規就農者総数に対する割合

※青年は45歳未満の者

## 2 経営部門別の新規就農者数

- (1) 自営就農者  
野菜が48人と最も多く、次いで水稲28人、果樹14人
- (2) 雇用就農者  
水稲66人と最も多く、次いで野菜27人、その他25人
- (3) 合 計  
水稲が94人と最も多く、次いで野菜75人、その他34人

表2 経営部門別の新規就農者数の内訳 (単位：人)

部門	水稲	野菜	果樹	花き	肉牛	酪農	養豚	養鶏	その他	合計
自営	28	48	14	13	4	4	0	2	9	122
雇用	66	27	9	5	6	14	16	8	25	176
合計	94	75	23	18	10	18	16	10	34	298

(参考)

1 調査方法

各地方農業担い手育成推進協議会、(一社)岩手県農業会議、岩手県チキン協同組合及び岩手県養豚振興会等からの情報を県が取りまとめ、集計したもの。

2 調査対象期間

令和7年4月1日～令和8年3月31日

3 就農区分

(1) 新規学卒

中学校、高等学校、県立農大、大学、短大等学校を卒業後、他産業に従事することなく新たに就農した者。(卒業後直ちに研修を受け、新たに就農した者を含む。)

(2) 家業への就農者

農家子弟であって他産業に従事した後、就農した者。(生活の主な状態が、「他に雇われて勤務が主」から「自営農業への従事が主」となった者(結婚によるものや家事から農業に切り替わった者も含む。))

※令和5年度まで「Uターン者」の区分で調査していたもの

(3) 新規参入

農家子弟以外で農業経営を開始し、「自営農業への従事が主」になった者。(農家子弟であっても、自ら農地や施設の権利を取得し、親の経営とは明確に区分できる新たな農業経営を開始した者を含む。)

(4) 雇用就農者

農業法人等の主として農業生産部門に従事した者。(年間7か月以上(見込まれる者も含む。))

(5) 青年

45歳未満の者。